

食品安全情報（微生物） No.6 / 2024（2024.03.19）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）](#)】

1. 米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）からの情報提供（2023年10月13日付）

【[カナダ公衆衛生局（PHAC）](#)】

1. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染に関する調査（2023年10月16日付最終更新）

【[欧州疾病予防管理センター（ECDC）](#) / [欧州食品安全機関（EFSA）](#)】

1. ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：そのまま喫食可能な（ready-to-eat）魚製品に関連して長期間にわたり複数国で発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes* シークエンスタイプ（ST）155）感染患者クラスター

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

【[ProMED-mail](#)】

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（10）
-

【各国政府機関】

- 米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS: Department of Agriculture, Food Safety and Inspection Service)

<https://www.fsis.usda.gov/>

米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) からの情報提供 (2023 年 10 月 13 日付)

Constituent Update - October 13, 2023

<https://www.fsis.usda.gov/news-events/news-press-releases/constituent-update-october-13-2023>

米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) の 2024 年度年次計画

米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) は、2024 年度【編者注：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日】の年次計画を Web ページに発表した。この年次計画には、FSIS が年度目標を達成するために行うべきことが詳細に説明されており、食品由来疾患の予防と公衆衛生保護、公衆衛生向上のための検査制度・方針・科学的アプローチの変更、業務内容の向上などが含まれている。

詳細は以下の Web ページから入手可能である。

https://www.fsis.usda.gov/sites/default/files/media_file/documents/FY2024-Annual_Plan.pdf (PDF)

生の家禽肉検体に関する検体採取施設別データセットの更新を発表

2023 年 8 月 18 日に公表したように、FSIS は 10 月 13 日に「Raw Poultry Laboratory Sampling Establishment-Specific Dataset (生の家禽肉検体に関する検体採取施設別データセット)」の更新を発表した。このデータセットは、予備的・特別プログラムによる家禽肉検体、生の鶏とたい検体、生の鶏部分肉検体、生の鶏ひき肉検体、生の七面鳥ひき肉検体、生の七面鳥とたい検体、フォローアップ調査での生の家禽肉検体などのデータをまとめたものである。また、更新されたデータセットには、検体採取プロジェクトで再懸吊された若鶏とたい、サルモネラの菌数測定、および衛生指標菌 (好気性菌数、腸内細菌科菌群) に関するデータが含まれた。本データセットは以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.fsis.usda.gov/science-data/data-sets-visualizations/laboratory-sampling-data>

このデータセットは今後、施設別データセットに関する定期的な発表スケジュールに従って更新が発表される。ある四半期のデータは次々四半期の最初の金曜日に発表されることになっており、たとえば 2023 年度第 4 四半期 (2023 年 7～9 月) のデータは 2024 年 1

月 5 日に、2024 年度第 1 四半期（2023 年 10～12 月）のデータは 2024 年 4 月 5 日に発表される予定である。

輸入拒否および輸入量に関するデータセットの更新を発表

2023 年 10 月 16 日、FSIS は、自身が管轄する製品の輸入拒否および国別輸入量に関するデータセットの更新を発表した。食肉・家禽肉・卵製品を輸入する際は、それらを米国市場に出荷する前に毎回再検査を受けることが連邦法で義務付けられている。その再検査で FSIS は、ラベル表示、証明書、一般的な状態および異物混入の形跡を検証し、輸送により品質が劣化した製品の特定制も行う。また、病原体汚染や残留化学物質について、疑いがある場合にまたは無作為で製品の理化学検査や検体採取を行う。

FSIS の要件を満たしていない製品は、輸入が拒否される。輸入が拒否された場合、輸入業者は食品として使用せず、食肉および家禽肉は 45 日以内に、卵製品は 30 日以内に廃棄するか、飼料用として他国に再輸出する。もしくは可能であれば、ラベル表示やマークの変更、交換証明書などにより、FSIS の要件を満たしたうえで輸入する。

輸入拒否に関する最新のデータセットは毎月 15 日頃に更新され、保管用のデータセットは各四半期の最初の月の 15 日頃に更新される。データセットには、輸入拒否となった製品を含むすべての輸入に関するデータが収載されている。

輸入量に関する最新および保管用のデータセットは、両方とも各四半期の最初の月の 15 日頃に更新される。これらのデータは、公的な輸入検査施設で再検査用に FSIS に提供された輸入食肉・家禽肉・卵製品の量を示している。

● カナダ公衆衛生局（PHAC: Public Health Agency of Canada）

<https://www.phac-aspc.gc.ca/>

国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染に関する調査（2023 年 10 月 16 日付最終更新）

Investigation into non-travel related *Cyclospora* infections

October 16, 2023

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices.html>

カナダでは毎年、国外旅行と関連のないサイクロスポラ症患者がカナダ公衆衛生局（PHAC）に報告されており、その報告数は春季および夏季に増加する。2023 年 5～9 月に、サイクロスポラ症患者計 398 人が、オンタリオ州（328 人）、ケベック州（46）、ブ

リティッシュ・コロンビア州 (21)、ニューファンドランド・ラブラドール州 (2) およびノバスコシア州 (1) から報告された。これらの患者の感染源 (単一とは限らない) は特定されなかった。PHAC は、公衆衛生・食品安全当局と協力し、カナダで毎年発生するサイクロスポラ症患者の感染経路の調査を継続している。

(食品安全情報 (微生物) No.14 / 2023 (2023.07.05) PHAC 記事参照)

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/>

欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<https://www.efsa.europa.eu>

ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：そのまま喫食可能な (ready-to-eat) 魚製品に関連して長期間にわたり複数国で発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes* シークエンスタイプ (ST) 155) 感染患者クラスター

Joint ECDC-EFSA Rapid Outbreak Assessment: Prolonged multi country cluster of *Listeria monocytogenes* ST155 infections linked to ready-to-eat fish products

13 Dec 2023

https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/listeria-monocytogenes-ST155-infections-fish-products_0.pdf (ECDC 報告書 PDF)

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/prolonged-multi-country-cluster-listeria-monocytogenes-st155-infections> (ECDC サイト)

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/sp.efsa.2023.EN-8538> (EFSA 報告書 PDF)

<https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-8538> (EFSA サイト)

要旨

欧州連合／欧州経済領域 (EU/EEA) 加盟国および英国において、リステリア (*Listeria monocytogenes* 血清群 IIa シークエンスタイプ (ST) 155) 感染の遺伝子クラスターが特定されている。ゲノムの類似性に基づき、これらのクラスターは 3 つのサブクラスターに分類され、このうち「サブクラスター1」による患者の報告のみが続いている。したがって、本アウトブレイク評価ではこの「サブクラスター1」に注目する。「サブクラスター1」に感

染した患者は、2016～2023年にEU/EEA加盟5カ国から計64人が報告されており、このうち17人（オーストリア1人、ベルギー1人、イタリア8人、ドイツ6人、オランダ1人）が2022年および2023年に報告された。2019～2023年に患者のうち10人が死亡した。「サブクラスター2」および「サブクラスター3」による患者は2011～2021年に計30人が報告され、その後新たな患者は報告されていない。患者への聞き取り調査に基づき、そのまま喫食可能な（RTE）魚製品が感染源であることが示唆されている。

各国当局の食品調査、追跡調査およびゲノムデータにより、「サブクラスター1」の *L. monocytogenes* 株は、魚製品12検体で計34株および魚加工施設1カ所の環境検体で1株が特定された。塩基配列解析から、リトアニアの2カ所の加工施設との関連が示された。これらの2施設由来の汚染魚製品が2022～2023年にドイツおよびイタリアの小売市場には流通していたが、患者を報告したその他の3カ国（オーストリア、ベルギー、オランダ）での当該製品の流通に関する情報はなかった。市場に流通している密封包装のRTE魚製品から「サブクラスター1」の株が繰り返し検出されていることから、1カ所の加工施設が8年以上にわたり持続的に当該株により汚染されていることが明らかになった。

汚染源を特定するためには、RTE魚製品の生産チェーンで対象をより限定した調査を行う必要がある。RTE魚製品の加工施設のうち1カ所で製造を中止することにより新たな感染を抑制できる可能性が高いが、全ての汚染源や汚染施設が適切に管理されるまでは、健康被害を受けやすい人（免疫機能が低下している人や75歳以上の人）などで新たな患者の発生が予測される。

患者の疫学的・微生物学的調査

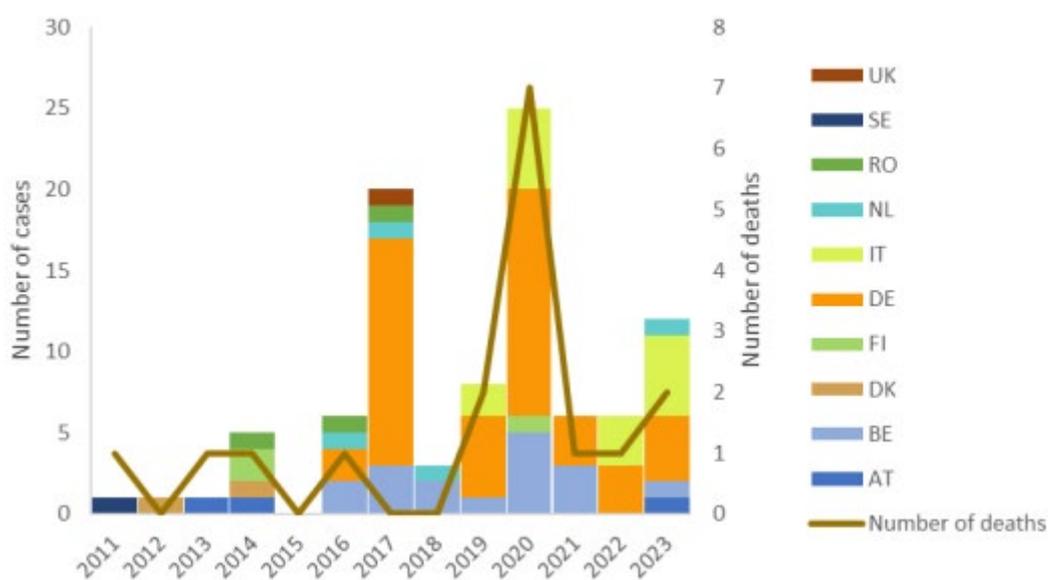
欧州疾病予防管理センター（ECDC）は、標準的な症例情報を用いた患者報告および *L. monocytogenes* ST155株の塩基配列の提出を関係各国に求めた。収集データには、欧州の症例定義を満たす過去の患者のデータも含まれた。下記の記述疫学は最近の患者および過去の患者を対象としているため、全体をまとめて「Omikron1クラスター」と表記する。

2011年から2023年12月5日までに、「Omikron1クラスター」の *L. monocytogenes* ST155感染確定患者がEU/EEA加盟9カ国および英国で計94人報告されている（表1、図1）。

表 1：「Omikron1 クラスター」の国別・統計年別の *Listeria monocytogenes* シークエンスタイプ (ST) 155 感染確定患者数 (EU/EEA 加盟 9 カ国および英国、n=94、2023 年 12 月 5 日時点)

| Country | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | Total |
|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|
| Austria | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| Belgium | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 1 | 5 | 3 | 0 | 1 | 17 |
| Denmark | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| Finland | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| Germany | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 14 | 0 | 5 | 14 | 3 | 3 | 4 | 45 |
| Italy | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 0 | 3 | 5 | 15 |
| Netherlands | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| Romania | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| Sweden | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| United Kingdom | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| Total | 1 | 1 | 1 | 5 | 0 | 6 | 20 | 3 | 8 | 25 | 6 | 6 | 12 | 94 |

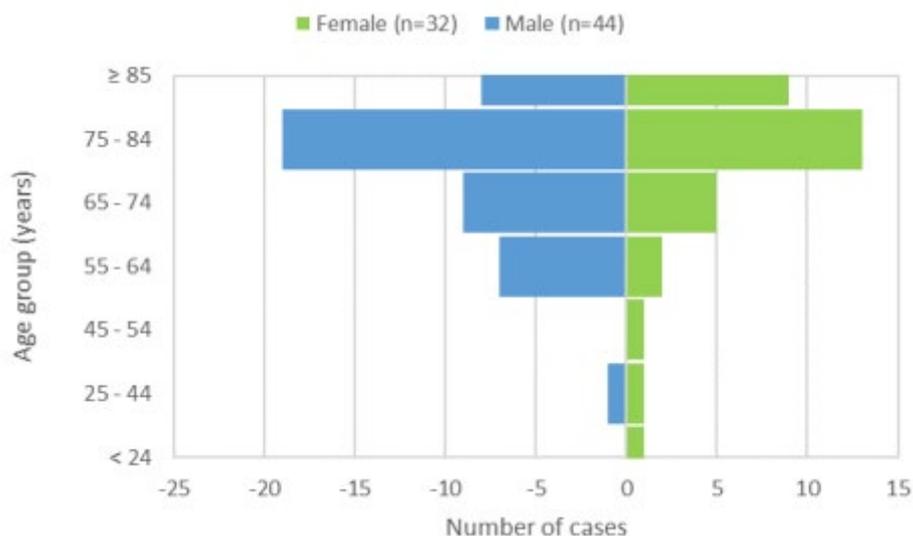
図 1：「Omikron1 クラスター」の国別・統計年別の *Listeria monocytogenes* シークエンスタイプ (ST) 155 感染確定患者数および報告死亡者数 (EU/EEA 加盟 9 カ国および英国、n=94、2023 年 12 月 5 日時点)



(AT：オーストリア、BE：ベルギー、DK：デンマーク、FI：フィンランド、DE：ドイツ、IT：イタリア、NL：オランダ、RO：ルーマニア、SE：スウェーデン、UK：英国)

年齢および性別に関する情報は、6 カ国の患者計 76 人について得られた (図 2)。患者の年齢範囲は 13～93 歳で、年齢中央値は 78 歳であった。患者数が最も多かった年齢層は「75～84 歳」(42.7%) で、「85 歳以上」(22.7%) が 2 番目に多かった。患者数に性差は見られなかった。

図 2：「Omikron1 クラスター」の国別・性別の *Listeria monocytogenes* シークエンスタ
 イプ (ST) 155 感染確定患者数 (EU/EEA 加盟 6 カ国および英国、n=76、2023 年 12 月 5
 日時点)



(情報源：オーストリア、ベルギー、ドイツ、イタリア、オランダ、スウェーデンの各国の報告書)

転帰に関する情報が得られた患者 54 人のうち、52 人 (96.3%) が入院し、リステリア感染が原因で死亡した患者または死亡時にリステリアに感染していた患者は計 17 人であった。これらの死亡者 17 人の国別内訳は、オーストリア (2 人)、ベルギー (1)、ドイツ (12)、イタリア (1) およびスウェーデン (1) であった。死亡者の年齢範囲は 26~90 歳 (年齢中央値は 78 歳) であった。情報が得られたイタリアの患者 12 人のうち、4 人が髄膜炎、8 人が敗血症を発症した。

○ 患者への聞き取り調査から得られた情報

ドイツでは、患者 5 人のうち 4 人が発症前 14 日以内に RTE 魚製品を喫食していたことを報告した。この 4 人のうち 1 人は 2022 年の患者である。

イタリアでは、2023 年に報告された患者 5 人のうち 3 人が、発症前 30 日以内に RTE 魚製品 (スモークサーモン) を喫食していた。この 3 人のうち 1 人は 2023 年 7 月に髄膜炎を発症した患者で、発症前にサーモン製品 J (Product J) を喫食していたことを報告した。2023 年に報告されたその他の 2 人については食品喫食歴が得られなかった。

オランダではこれまでのところ、2023 年の患者 1 人が発症前に魚製品を喫食したことを報告している。

食品の微生物学的調査・環境調査および各国による規制措置

◎ スモークサーモン製品「Product J」および「Product C」（RASFF（食品および飼料に関する早期警告システム）通知「2023.5976」および「2019.4292」）

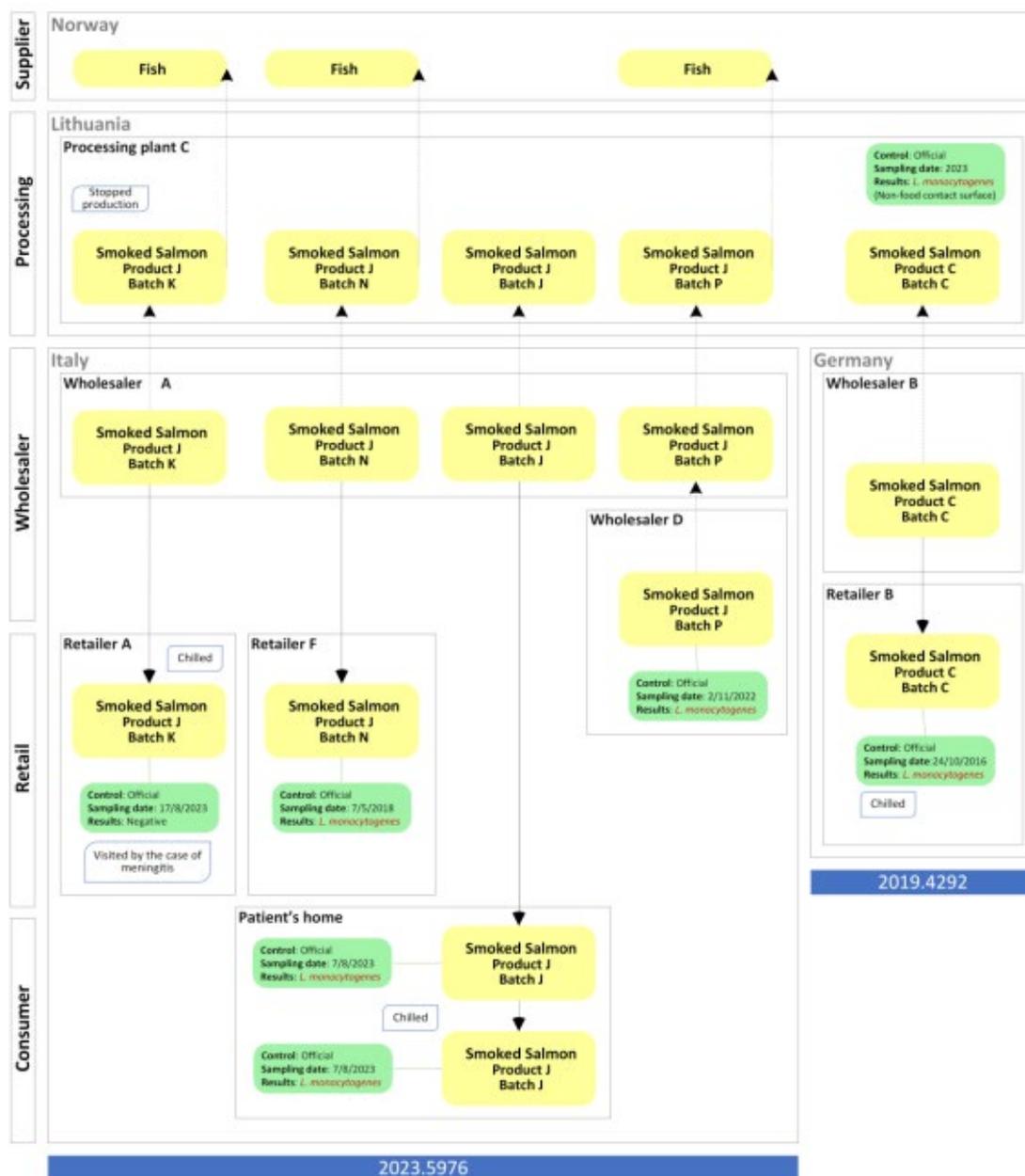
本セクションには、以下の製品に関する各国の対応がまとめられている。

- *L. monocytogenes* 陽性であった RTE スモークサーモン 3 製品（2023 年に検体採取された「Product J」の 1 バッチ（Batch J）、2022 年に検体採取された「Product J」の 1 バッチ（Batch P）、および 2018 年に検体採取された「Product J」の 1 バッチ（Batch N））。これらの 3 バッチの製品は EpiPulse（欧州感染症サーベイランスポータルサイト）事例番号「2020-FWD-00012」および「2023-FWD-00023」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2023.5976」を介して通知が行われた（2023 年 11 月 27 日までに発出された欧州委員会（EC）検証済みのフォローアップ（*fup*）件数は計 5 件）。
- 2016 年に検体採取され *L. monocytogenes* 陽性であった過去のスモークサーモン製品（「Product C」の 1 バッチ（Batch C））。この製品は Epi-Pulse 事例番号「2020-FWD-00012」および「2023-FWD-00023」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2019.4292」を介して報告された（2023 年 12 月 5 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件）。

これらのスモークサーモン製品はリトアニアの加工施設 Plant C で製造された。

これらの製品の追跡調査の結果が図 6 にまとめられている。

図 6 : *L. monocytogenes* が検出された食品（そのまま喫食可能な（RTE）スモークサーモン「Product J」および「Product C」）の追跡調査および微生物学的分析の結果。RASFF 通知「2023.5976」（2023 年 11 月 27 日までに発出された欧州委員会（EC）検証済みのフォローアップ（*fup*）件数は計 5 件）および「2019.4292」（2023 年 12 月 5 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件）の関係各国から報告された情報にもとづき作成。



（赤字表記の *L. monocytogenes* : 各国のクラスター分析にもとづく *L. monocytogenes* ST155 (Omikron1 クラスター))

○ イタリア

2023年7月にイタリアで *L. monocytogenes* ST155 感染による髄膜炎の患者が発生したことを受け、イタリアの食品安全当局は RASFF「2023.5976」を発信し、患者の自宅で冷蔵状態で採取された同じ RTE スモークサーモン製品「Product J」（密封包装品）由来の2検体から *L. monocytogenes* ST155（3,000,000 CFU/g および 820,000 CFU/g）が検出されたことを報告した。

当該2検体は賞味期限が2023年7月の Batch J 由来であり、2023年8月7日に採取された。リステリア株は3株が分離され全ゲノムシーケンシング（WGS）解析が実施された。また、イタリア国内の分離株におけるクラスター分析を実施した結果、イタリアの患者由来分離株（サブクラスター1）との遺伝的類似性が認められた（通知「2023.5976」）。

国の調査の一環として、イタリアの食品安全当局は、患者が2023年7月12日にスモークサーモン製品を購入した小売店 Retailer A において、8月17日に公的検査を実施した。「Product J」の別のバッチ（Batch K）から1検体を冷蔵状態で採取し検査した結果、*L. monocytogenes* は検出されなかった。

「Product J」の Batch J および Batch K は、リトアニアの Plant C がノルウェー産サーモン（原産国に関する情報は Batch K についてのみ RASFF に登録されている）を使用して製造し、イタリアの卸売業者 Wholesaler A がイタリア国内向けに出荷したものであった。

イタリアの食品安全当局はまた、卸売業者 Wholesaler D において2022年11月に採取された「Product J」の Batch P 由来の検体を検査した結果、*L. monocytogenes* ST155（<10 CFU/g；「サブクラスター1」、「サブクラスター2」）が検出されたことも通知した。

「Product J」の Batch P は、リトアニアの Plant C がノルウェー産サーモンを使用して製造し、イタリアの Wholesaler A がイタリア国内向けに出荷したものであった（通知「2023.5976」 *fup5*）。

また2023年11月20日、イタリアの食品安全当局は、2018年に冷蔵状態で採取された「Product J」の Batch N（密封包装のスモークサーモン製品）由来の1検体（公的検体）から *L. monocytogenes* ST155（サブクラスター1）が検出されたことも通知した。当該検体は2018年5月7日にイタリアの小売業者 Retailer F の店舗で採取された。この「Product J」の Batch N はリトアニアの Plant C がノルウェー産サーモンを使用して製造し、イタリアの Wholesaler A がイタリア国内向けに出荷したものであった（通知「2023.5976」 *fup1*, *fup4*）。

○ リトアニア

イタリアの調査結果を受け、2023年9月15日にリトアニアの食品安全当局は、リトアニアの Plant C が製造を中止したことを報告した（通知「2023.5976」 *fup2*）。リトアニアの食品安全当局はまた、食品（冷燻サーモン）および環境由来検体が採取され、リステリア

検査が行われたことも報告した。食品検体からはリステリアは検出されなかった。環境由来 1 検体(食品非接触表面)から *L. monocytogenes* ST155 が検出された(通知「2023.5976」 *fup3*)。

○ ドイツ

2020 年 5 月 20 日、ドイツの食品安全当局は、RASFF 「2019.4292」 を介して通知を行い、ドイツの小売業者 Retailer B の店舗で 2016 年 10 月に採取された密封包装の冷蔵スモークサーモン製品(「Product C」の Batch C) から *L. monocytogenes* ST155 (サブクラスター1) が検出されたことを報告した(通知「2019.4292」 *fup4*)。

この「Product C」の Batch C はリトアニアの Plant C が製造し、ドイツの卸売業者 Wholesaler B がドイツ国内向けに出荷したものであった(通知「2019.4292」 *fup4*)。追跡調査の詳細情報は RASFF には登録されていない。

◎ スモークサーモン製品「Product G」、「Product A」および「Product K」(RASFF 通知「2019.4292」)

本セクションには、以下の製品に関する各国の対応がまとめられている。

- 2023 年に検体採取され *L. monocytogenes* が検出された RTE スモークサーモン 1 製品(「Product G」の 1 バッチ (Batch G))。この製品は Epi-Pulse 事例番号「2023-FWD-00023」および「2020-FWD-00012」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2019.4292」を介して報告された(2023 年 12 月 5 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件)。
- 2017 年に検体採取され *L. monocytogenes* が検出された過去のスモークサーモン 1 製品(「Product K」の 1 バッチ (Batch M))。この製品は Epi-Pulse 事例番号「2023-FWD-00023」および「2020-FWD-00012」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2019.4292」を介して報告された(2023 年 12 月 5 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件)。
- 2016 年に検体採取され *L. monocytogenes* が検出された過去のスモークサーモン 1 製品(「Product A」の 1 バッチ (Batch A))。この製品は Epi-Pulse 事例番号「2020-FWD-00012」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2019.4292」を介して報告された(2023 年 12 月 5 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件)。

これらのスモークサーモン製品はリトアニアの加工施設 Plant A で製造された。

これらの製品の追跡調査の結果が図 7 にまとめられている。

図 7 : *L. monocytogenes* が検出された食品（そのまま喫食可能な（RTE）スモークサーモン「Product G」、「Product A」および「Product K」）の追跡調査および微生物学的調査の結果。RASFF 通知「2019.4292」（2023 年 12 月 5 日までに発出された欧州委員会（EC）検証済みのフォローアップ（*fup*）件数は計 13 件）の関係各国から報告された情報にもとづき作成。



（赤字表記の *L. monocytogenes* : 各国のクラスター分析にもとづく *L. monocytogenes* ST155 (Omikron1 クラスタ)

○ ドイツ

2023 年 9 月 18 日、ドイツの食品安全当局は RASFF「2019.4292」を介して通知を行い、公的検査において、密封包装の冷蔵スモークサーモン製品（「Product G」の Batch G）由来の 1 検体から、ドイツの患者由来の代表的なアウトブレイク株（サブクラスター1）と一致する *L. monocytogenes* ST155 が検出されたことを報告した（通知「2019.4292」*fup11*）。当該検体はドイツの小売業者 Retailer C の店舗で 2023 年 5 月に採取された。この「Product

G」の Batch G はリトアニアの Plant A がノルウェー産サーモンを使用して製造し、ドイツの Wholesaler B がドイツ国内向けに出荷したものであった（通知「2019.4292」*fup11*）。

ドイツの食品安全当局は以前に RASFF 通知「2019.4292」を介し、2016年10月25日に公的検査で採取された密封包装の冷蔵スモークサーモン製品（「Product A」の Batch A）由来の1検体からも *L. monocytogenes* ST155（サブクラスター3）が検出されたことを報告していた。この「Product A」の Batch A もリトアニアの Plant A が製造したものであった（RASFF 通知「2019.4292」）。検体の採取場所や追跡調査などに関する詳細情報は RASFF には登録されていない。

その後、2017年8月28日に密封包装のスモークサーモン製品（「Product K」の Batch M）から1検体が公的検査で採取され、2019年11月4日に *L. monocytogenes* ST155（Omikron1 クラスター）が検出された。当該検体はドイツの小売業者 Retailer E の店舗で採取された。この「Product K」の Batch M はリトアニアの Plant A がノルウェー産サーモンを使用して製造し、ドイツの Wholesaler B がドイツ国内向けに出荷したものであった（通知「2019.4292」*fup13*）。

◎ スモークサーモン製品「Product B」、「Product H」および「Product I」（RASFF 通知「2019.4292」および「2021.4990」）

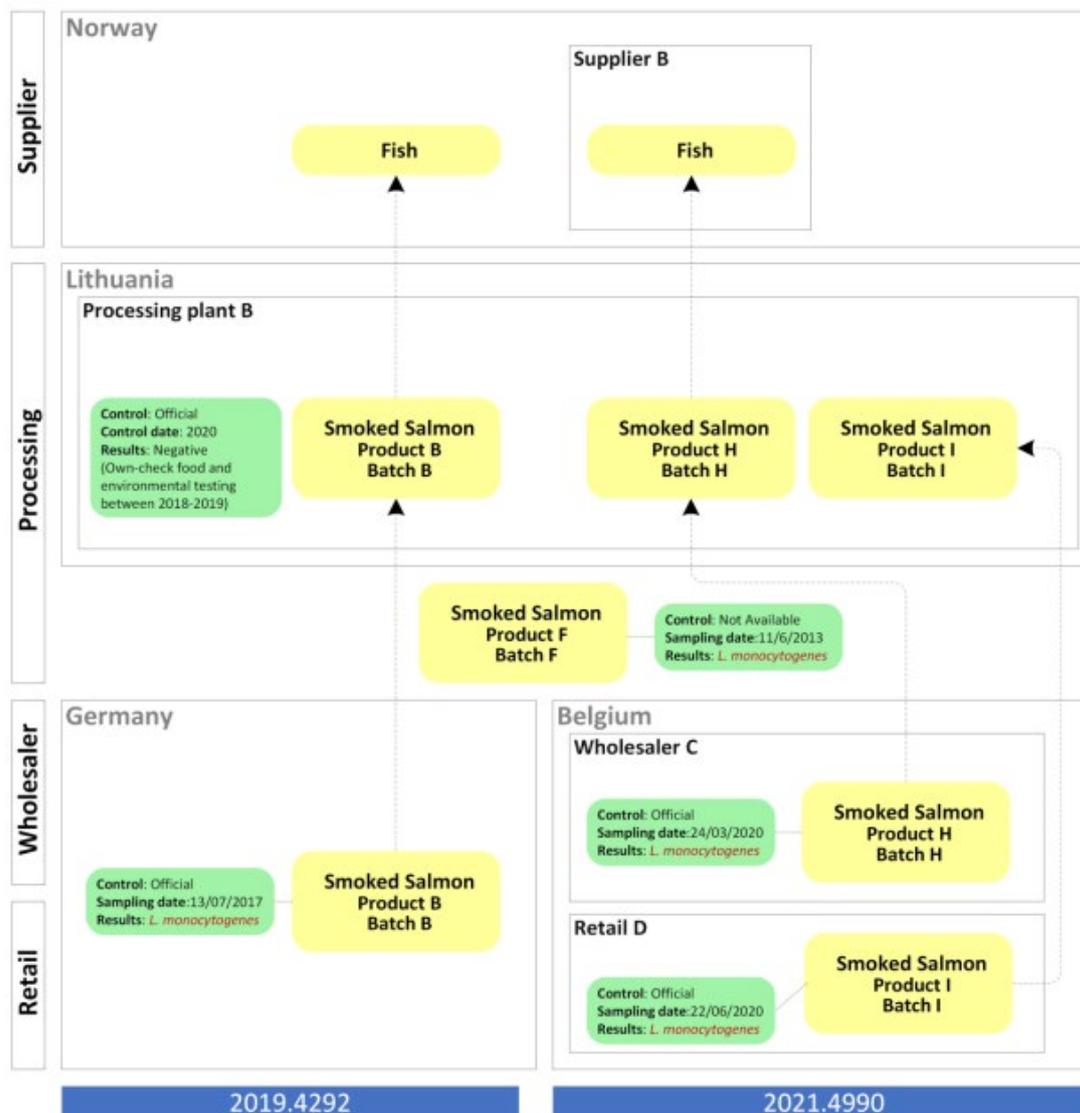
本セクションには、以下の製品に関する各国の対応がまとめられている。

- ・ 2017年に検体が採取され *L. monocytogenes* が検出された過去の RTE スモークサーモン1製品（「Product B」の1バッチ（Batch B））。
- ・ 2020年に検体が採取され *L. monocytogenes* が検出された過去の RTE スモークサーモン1製品（「Product H」の1バッチ（Batch H））。
- ・ 2020年に検体が採取され *L. monocytogenes* が検出された過去の RTE スモークサーモン1製品（「Product I」の1バッチ（Batch I））。

これらの製品は Epi-Pulse 事例番号「2020-FWD-00012」と微生物学的関連があり、RASFF 通知「2019.4292」（2023年12月5日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計13件）および「2021.4990」（2021年10月18日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計2件）を介して通知が行われた。これらのスモークサーモン製品はリトアニアの加工施設 Plant B で製造された。

これらの製品の追跡調査の結果が図8にまとめられている。

図 8 : *L. monocytogenes* が検出された食品* (そのまま喫食可能な (RTE) スモークサーモン製品「Product B」、「Product H」および「Product I」) の追跡調査および微生物学的調査の結果。RASFF 通知「2019.4292」(2023 年 12 月 5 日までに発出された欧州委員会 (EC) 検証済みのフォローアップ件数は計 13 件) および「2021.4990」(2021 年 10 月 18 日までに発出された EC 検証済みのフォローアップ件数は計 2 件) の関係各国から報告された情報にもとづき作成。



(赤字表記の *L. monocytogenes* : 各国のクラスター分析にもとづく *L. monocytogenes* ST155 (Omikron1 クラスター))

* 2020 年に別の 1 食品 (リトアニアの Plant B で製造されたスモークサーモン) の検体がフランスの小売店で採取され *L. monocytogenes* ST155 (サブクラスター-1) が検出された (RASFF 通知「2020.2970」)

○ ドイツ

ドイツの食品安全当局は、*L. monocytogenes* ST155 感染により発生した 2016～2019 年の患者クラスターに関する国内調査において、2017 年 7 月 13 日に公的検査で採取された密封包装の冷蔵スモークサーモン製品（「Product B」の Batch B）由来の 1 検体から *L. monocytogenes* ST155（サブクラスター3）株と一致する株が検出されたことを報告した（RASFF 通知「2019.4292」）。この「Product B」の Batch B はリトアニアの Plant B がノルウェー産サーモンを使用して製造したものであった。検体の採取場所や追跡調査などに関する詳細情報は RASFF には登録されていない。

○ リトアニア

2019 年 12 月にドイツから「Product B」の Batch B に関する情報提供を受け、2020 年 1 月 2 日にリトアニアの食品安全当局は、当該製品を製造したリトアニアの Plant B での公的検査の結果を RASFF に通知した。リトアニアの食品安全当局によると、2018～2019 年にサンプリングが行われた自主検査（製品由来検体および食品加工施設の環境由来検体）および賞味期限試験の結果は規則の要件を満たしていた（通知「2019.4292」 *fup1*）。

○ ベルギー

ベルギー国内の研究プロジェクトにおいて、過去にスモークサーモン製品から分離された 3 株の *L. monocytogenes* が、ドイツの患者由来の代表的な *L. monocytogenes* ST155 株（Omikron1 クラスター）と一致したことが明らかになった（RASFF 通知「2021.4990」）。2021 年 9 月 17 日、ベルギーの食品安全当局は、これら 3 株のうち 2 株に関する追跡調査の情報を RASFF に報告した。当該 2 株はスモークサーモン 2 製品（「Product H」の Batch H および「Product I」の Batch I）由来の株であった（通知「2021.4990」 *fup2*）。残りの 1 株はスモークサーモン製品「Product F」の 1 バッチ（Batch F）から分離された。

「Product H」の Batch H の当該検体は 2020 年 3 月 24 日にベルギーの卸売業者 Wholesaler C で採取され、*L. monocytogenes* ST155（サブクラスター1）が検出された（検出菌数は 40 CFU/g 未満）。この「Product H」の Batch H は、リトアニアの Plant B がノルウェー産サーモン（ノルウェーの供給業者は Supplier B）を使用して、ベルギーの加工施設 Plant E 向けに製造したものであった（通知「2021.4990」 *fup2*）。

「Product I」の Batch I の当該検体は 2020 年 6 月 22 日にベルギーの小売業者 Retailer D で採取され、*L. monocytogenes* ST155（サブクラスター1）が検出された（検出菌数は 80 CFU/g）。この「Product I」の Batch I はリトアニアの Plant B がベルギーの加工施設 Plant F 向けに製造したものであった（通知「2021.4990」 *fup2*）。

「Product F」の Batch F の当該検体は 2013 年 6 月 11 日に加工施設で採取され、*L. monocytogenes* ST155（サブクラスター3）が検出された（検出菌数は 10 CFU/g 未満）。加工施設に関する情報は RASFF には登録されていないが、ベルギーの食品安全当局によ

ると、当該加工施設は 2019 年以降稼働していない。追跡調査の詳細情報は RASFF には登録されていない。

(関連記事)

欧州疾病予防管理センター (ECDC)

そのまま喫食可能な (ready-to-eat) 魚製品に関連して欧州連合／欧州経済領域 (EU/EEA) 加盟 5 カ国にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染患者クラスタ

Listeria cluster in 5 EU/EEA countries linked to ready-to-eat fish products

13 Dec 2023

<https://www.ecdc.europa.eu/en/news-events/listeria-cluster-5-eueea-countries-linked-ready-eat-fish-products>

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2024 年 2 月 27 日～3 月 11 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

スペイン産アーモンドスライスのサルモネラ属菌、ノルウェー産スモークサーモン (フレーク) のリステリア (*L. monocytogenes*)、トルコ産 (フランス経由) ピスタチオパウダーの

リステリア (*L. monocytogenes*)、フランス産ピスタチオパウダーのリステリア (*L. monocytogenes*)、ドイツ産冷凍ブルーベリーのノロウイルス (GII)、ドイツ産粒状大豆ミート (ビーガン用代替食品) のサルモネラ属菌、フランス産チーズのリステリア、ドイツ産冷凍ハンバーガーパテの志賀毒素産生性大腸菌、チェコ産冷凍鶏内臓のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、フランス産(アイルランド産原材料使用)活イガイの大腸菌 (930 CFU/100g)、イタリア産クルミソースのリステリア (*L. monocytogenes*)、イタリア産加熱済みハムのリステリア (*L. monocytogenes*)、オランダ産冷凍家禽ひき肉のサルモネラなど。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

台湾産冷凍海藻製品 (ゴマ入り) のノロウイルス (GII)、オランダ産猪肉バーガーのサルモネラ属菌、トルコ産ゴマペーストのサルモネラ属菌、イタリア産の生乳チーズのベロ毒素産生性大腸菌 (*stx1+*)、オランダ産冷蔵牡蠣のノロウイルス、ウクライナ産飼料 (ヒマワリ搾油粕) のサルモネラ、フランス産牡蠣のノロウイルス (GI、GII)、中国産冷凍海藻サラダのノロウイルス、ポーランド産鶏むね肉のサルモネラ (*S. enterica*, 1/5 検体陽性)、モロッコ産イチゴの A 型肝炎ウイルス、クロアチア産二枚貝 (*Venus verrucosa*) のノロウイルス、米国産クルミカーネル (原材料) のサルモネラ属菌、カナダ産二枚貝のノロウイルス (GI、GII)、ポーランド産鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、トルコ産ピスタチオハルバのサルモネラ、ポーランド産牛肉製品のサルモネラ、イタリア産冷凍鶏とたいのサルモネラ (*S. Enteritidis*) など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

イタリア産チョコレートビスケット (リッチャレリ) のカビ、ハンガリー産冷凍鴨むね肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ウクライナ産ヒマワリミールのサルモネラ (*S. Agona*)、ポーランド産 (エストニア経由) 生鮮鶏肉のサルモネラ属菌、スペイン産冷凍生豚肉のサルモネラ属菌 (3/5 検体陽性)、イタリア産動物副産物 (七面鳥ミール) のサルモネラ (*S. Mbandaka*)、オランダ産大豆皮 (混合飼料) のサルモネラ (*S. Mbandaka*)、オランダ産の生ペットフードのサルモネラ、ウルグアイ産 (オランダ経由) 冷蔵牛肉のサルモネラ属菌、デンマーク産魚粉のサルモネラ (2/5 検体陽性)、ウルグアイ産の生鮮牛カット肉のサルモネラ、ポーランド産牛切り落とし肉のサルモネラ属菌、オランダ産オレンジジュースのカビなど。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ウクライナ産冷凍ラズベリーのカビの痕跡、中国産冷凍カットサーモンのアニサキス科、トルコ産ベイリーのサルモネラ、インド産 betel leaf (キンマの葉) のサルモネラ、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ属菌、トルコ産ゴマ種子のサルモネラ属菌など。

● ProMED-mail (The Program for Monitoring Emerging Diseases)

<https://promedmail.org>

コレラ、下痢、赤痢最新情報 (10)

Cholera, diarrhea & dysentery update (10)

29 February 2024

コレラ

| 国名 | 報告日 | 発生場所 | 期間 | 患者数 | 死亡者数 |
|--------|------|---------------------|----------|--------------------------------------|-------|
| アフリカ連合 | 2/25 | 加盟 12 カ国* | 直近 1 週間 | 計 4,627 | 計 86 |
| | | 加盟 15 カ国 (以下に内訳) | 2024年1月～ | 計 40,485 (確定 6,310、 疑い 34,175) | 計 890 |
| | | ブルンジ | | 58 | 0 |
| | | カメルーン | | 138 | 27 |
| | | コモロ | | 110 | 6 |
| | | コンゴ民主共和国 | | 4,504 | 114 |
| | | エチオピア | | 1,625 | 14 |
| | | ケニア | | 165 | 0 |
| | | マラウイ | | 166 | 3 |
| | | モザンビーク | | 3,555 | 7 |
| | | ナイジェリア | | 169 | 2 |
| | | ソマリア | | 2,567 | 23 |
| | | 南アフリカ共和国 | | 2 | 0 |
| | | タンザニア | | 869 | 3 |
| | | ウガンダ | | 14 | 0 |
| | | ザンビア | | 16,400 | 554 |
| | | ジンバブエ | | 10,143 | 137 |

* ブルンジ、コモロ、コンゴ民主共和国、エチオピア、ケニア、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、ソマリア、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室